

ガザへの軍事侵攻の中、 パレスチナ・ヨルダン川西岸地区で続く日々の暮らしとフェアトレード



架け箸の商品に加え
パレスチナオリーブなど関連物販あり



10/18 SAT. 14:00~16:00

場 所 comm cafe

箕面市小野原西5-2-36
箕面市立多文化交流センター内



参加費 一般 550円
協会賛助会員・大学生 無料
(ワンドリンク制 350円~)

定 員 20名(要申し込み)

内 容

今回で5回目となるパレスチナ・ヨルダン川西岸地区訪問を果たした高橋智恵さん。「架け箸」で取り扱う木工品や刺繍製品を手がける生産者を訪ね、仕事の背景や日常に触れるなかで見てきたものとは。現地の人々が直面する困難や制約、それでもなおものづくりを続ける姿勢と希望について、また、なぜ今回の訪問を「占領を内面化した旅だった」と語られるのか（「架け箸」のnoteで公開中）、具体的なエピソードを交えながらお話いただきます。

わたしも!あなたも!

パレスチナを考える10月

写真展・パネル展・映画上映会なども開催 申込は▶

主催・問合せ | 箕面市立多文化交流センター (指定管理者: 公益財団法人箕面市国際交流協会)
HP | <https://mafga.or.jp> TEL 072-727-6912 / info@mafga.or.jp

フェアトレードショップ架け箸代表

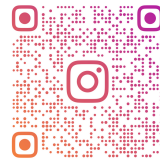
高橋 智恵

Chie Takahashi



大学在学中、中東パレスチナにて1ヶ月のホームステイがきっかけとなり、2020年2月にパレスチナの地場産業を活かしたクリエイションブランド「架け箸」を個人事業として設立。スローガン「素敵に国境はない」を掲げて活動している。ヨルダン川西岸地区で作られる木工や刺繍の手仕事を扱う。

2025年8月滞在記
「架け箸 note」で検索



KAKEHASHI0212